

## D. 見積比較表(トイレ) 3社比較 / 自動採点 / NG判定

選択は「はい/いいえ/該当なし」。重要項目は重み付け。重要NGは赤表示 & 「要注意」。

中項目	チェック項目	重要度 (配点)	備考(解説)
1.見積の透明性	見積明細(項目・数量・単価)が提示されている	5	「工事一式」だけだと比較不能。主要項目の内訳が必要
2.見積の透明性	撤去・搬出・産廃処分費が含まれる/明記されている	3	処分費は見落とされやすい。含む/別途を明確に
3.見積の透明性	養生範囲(マンションは共用部含む)が明記されている	2	共用部養生の範囲で差が出る
4.仕様(機器)	メーカー/シリーズ/型番が明記されている	3	型番まで揃うと比較が正確
5.仕様(機器)	形状(組合せ/一体型/タンクレス/キャビネット付)が一致している	3	形状が違くと価格帯が別物になる
6.仕様(機器)	便座機能(自動洗浄/脱臭/除菌等)が明記されている	2	機能の抜けて比較が崩れる
7.仕様(機器)	手洗いの扱い(タンク手洗い/独立手洗い/不要)が明記	2	独立手洗いは給排水・内装範囲が増える
8.現場条件(排水・給水)	排水方式(床/壁)・排水芯の確認が入っている	4	合わないと部材・工事増。現調で必ず確認
9.現場条件(排水・給水)	フランジ/排水接続部材の交換可否・費用が明記	4	臭い・微漏れがある場合は必要
10.現場条件(排水・給水)	止水栓交換の有無・費用が明記	2	劣化時は同時交換が効率的
11.現場条件(電気・換気)	コンセント位置・アース確認と必要時の移設/増設が明記	3	延長コード前提は避ける
12.現場条件(電気・換気)	換気扇(更新/新設)の扱いとダクト条件が明記	2	マンションは経路制約が出やすい
13.内装・下地	内装範囲(床/壁/天井)と材料グレードが明記	3	CF品番や同等グレード指定が望ましい
14.内装・下地	床下地補修の扱い(単価/上限/連絡フロー)が明記	5	見えない追加費用の典型。事前にルール化
15.保証・アフター	保証が書面で提示される(製品+工事、範囲・期間)	5	口頭のみはトラブル要因。書面必須
16.保証・アフター	施工後の連絡先・対応体制が明記	2	不具合時の窓口を明確化
17.工期・管理	工期(使用不可時間)と工程が明記	2	1台トイレは生活影響が大きい
18.工期・管理	管理組合対応(申請・掲示等)が含まれる	2	マンションでは必須プロセス